

## 「ファクシミリ用外付け節電装置」製品分類別基準（PCR番号：AW-03）

注)この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
1	PCR 設定の前提	製品	定義	ファクシミリの待機電力をカットする外付け節電装置。
2			範囲	最小販売単位に含まれる本体と、機能を果たすための通信コード・包装・マニュアル類。
3		ステージ	範囲	全ステージを対象とする。 対象となるライフサイクルステージ範囲を付表1に示す。
4	製品 データシート (LCI入力データ)	製品ステージ 情報 (製品情報)	製品材料または 原料構成	<ol style="list-style-type: none"> <li>製品データシートに記載する材料分類名 “鉄、銅、熱可塑性樹脂、ゴム、紙、実装回路基板”の6項目とする。 この6項目以外のものは原単位名を記載する。</li> <li>資源投入量 製品となった段階の材料質量で算出する。但し一部の部材が把握できない場合の特例として、製品全質量の90%以上の材料を種類別に分類できる場合に残りを比例配分して100%換算しても良いものとする。</li> <li>オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「間接影響」範囲内の控除・負荷</li> </ol>
5		製造ステージ 情報 (製造サイト情報)	投入、消費、 排出される物質 とエネルギー	<ol style="list-style-type: none"> <li>投入・消費項目 電力、A重油、軽油、灯油、ガソリン、LNG(都市ガス)、LPG、都市用水、工業用水、地下水。</li> <li>排出項目 特定せず。</li> <li>輸送負荷 原則として投入物質(原材料・エネルギー)の輸送負荷は計上しない。但し、部品等A扱いの部品についての製造サイト間の海外輸送負荷は計上する。</li> <li>副産物・副資材 計上しない。 ・副産物とは、製造工程においてその主な目的として製造される製品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物を指す。 ・副資材とは、製造サイトで投入され、また廃棄される資材で製品と共に出荷されないものを指す。</li> </ol>
6		物流ステージ 情報	製品の輸送 条件	<ol style="list-style-type: none"> <li>輸送手段：トラックとして各社モデルを設定する。</li> <li>輸送距離：製造サイトから販売店までとする。</li> </ol> <p>海外生産を含む場合は海外・国内間の輸送負荷を国内輸送負荷に加算して計上する。手段、標準距離および積載率など海外の輸送条件は各社の実態で設定するが、設定根拠の妥当性は検証の対象となる。</p>

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
7		使用ステージ情報	製品の使用条件	<p>1) 使用期間 5年間</p> <p>2) 使用条件 ・送受信動作 1回 5 分間の動作を送信、受信各 8 回/日 総送信回数 9,600 回 ( 8 回×20 日/月×12 ヶ月×5 年 ) 総受信回数 9,600 回 ( 8 回×20 日/月×12 ヶ月×5 年 ) ・・・総計 19,200 回</p> <p>・着信待受 上記送受信時以外は常時</p> <p>3) 包装材料の廃棄負荷 計上する</p>
8		廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	<p>標準シナリオの設定</p> <p>1) 紙類は可燃ごみとして取り扱う。</p> <p>2) その他は産業廃棄物として破碎、埋め立て扱いとし、その際の輸送距離は、100kmとする。</p> <p>3) オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1) 「間接影響」範囲とする工程 (2) 「間接影響」範囲内の控除・負荷</p>
9	製品環境情報 開示シート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI 計算式	オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響に分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。PEIDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載し、リサイクル効果の内訳を PEIDS の解説欄に記載する。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	なし
11	内訳データ シート	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12	>製品データ シート関連	データ収集	収集範囲	新製品の場合などでまだデータを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代用しても良い。
13			カットオフルール	組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。
14	内訳データ シート >PEIDS 関連	データベース	共通原単位の 選定	<p>対象&gt;使用するエコリーフ共通原単位</p> <p>1) IC、コンデンサ、抵抗等とそれらが実装されたプリント基板 &gt; 「実装回路基板」</p> <p>2) はんだ &gt; 「実装回路基板」</p> <p>3) イソプロピルアルコール &gt; 「メタノール」</p> <p>4) 鉄、軟鉄線 &gt; 「冷延鋼板」</p> <p>5) フッ素樹脂 &gt; 「PE(低密度)」</p> <p>6) ポリオレフィン &gt; 「PVC」</p> <p>7) ポリウレタンゴム &gt; 「NBR」</p> <p>8) 変性ポリフェニレンオキサイド &gt; 「フェノール樹脂」</p> <p>(注記: 以上は個別原単位の使用を制限するものではない。)</p>
15			原単位の追加	なし
16			特性化係数の追加	なし

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
17	製品環境情報 (PEAD)	製品仕様		<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼動時消費電力</li> <li>・待機時消費電力</li> <li>・重量</li> <li>・対応通信モード</li> </ul>
18		データ公開内容		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量</li> <li>2) 任意記載項目 ガイドライン指定の選択7項目</li> <li>3) Eセクション下部 注記内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用期間5年、総送受信回数を19,200回と想定しています。」</li> <li>・「上記公開内容にはファクシミリ本体の環境負荷は含みません。特定のファクシミリ装置を使用した場合の省エネルギー効果については下記「その他環境関連情報」欄をご覧ください。」</li> </ul> </li> <li>4) Eセクション 表現方法 ステージごとの棒グラフとする。</li> <li>5) オープンリサイクル/リユースを含む場合は <ul style="list-style-type: none"> <li>・「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せずに、独立してステージ毎に点線で表示する。</li> <li>・リサイクル効果の内訳は欄外に記載する。</li> </ul> </li> </ol>
19		その他環境関連情報 (選択記載事項)		<p>当該製品に関係する、第三者による事実確認が可能な下記の情報を記載できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) タイプⅠおよび／又はタイプⅢの環境ラベル</li> <li>2) ISO14001認証の取得</li> <li>3) 国または工業会等の認証・認定・表彰</li> <li>4) 特定のファクシミリ装置と組み合わせた場合の環境負荷低減 なお、以下を必ず併記すること。【】部は実際の情報で置き換える</li> </ol> <p>(注記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品の省エネルギー効果は、組み合わせるファクシミリ装置が24時間通電され、かつ待機時消費電力が大きい場合に大きく現れます。(主にオフィス用途の場合など)</li> <li>・本事例で組み合わせたファクシミリは【機種名】(待機時電力【カタログ値】w)、通信モードは【使用した通信モード】です。</li> </ul> <p>また、データ検証時にはその裏づけとなる資料を用意する。</p>

### PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定)	2003/9/29
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

### 本 PCR の改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2003/9/29	01	制定
2004/3/1	02	海外輸送負荷の計上を追加、リサイクル効果における直接影響・間接影響の区別を追加、品質重み付け係数を削除
2004/9/29	03	物流ステージの内容を修正
2008/1/1		更新
2011/2/1		更新

付表1 対象となるライフサイクルステージ範囲

ライフサイクル ステージ	素材製造	製品製造	物流	使用	廃棄リサイクル
ファクシミリ用外付け節電装置	○	○	○	○	○
ファクシミリ	×	×	×	×	×
ファクシミリ用消耗品	×	×	×	×	×

(注1) 本PCRの対象となる製品範囲を○印で示した。すなわち、ファクシミリ用外付け節電装置はファクシミリと一体で使用されるものではあるが、本PCRの対象範囲にはファクシミリ本体、及びファクシミリ用消耗品は含まない。

## 製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

### <規定改定前のPCR項目>

### <規定改定後のPCR項目>

No.	規定改定前のPCR項目		No.	規定改定後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				